

平成26年度 ニシン漁獲物調査速報(10)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

2月22日東しゃこたん漁協(古平地区)荷受け分の漁獲物の測定調査を実施しましたので、結果を報告します。東しゃこたん漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

この日の荷受け分では、序盤の主役であった15入れにかわり18入れが多くなりましたが、全体的には漁が薄く測定結果から推定される漁獲は406kgでした。23日荷受け分でも同傾向の内訳でしたが、この日は積丹方面からの出荷がまとまっていたようでした。

2. メスの完熟率(表1)

測定した15入れのメスは6割程度が完熟、それ以外は未熟もしくはヌケ(産卵後)でした。18入れのメスはすべて未熟で3月以降の産卵群とみられました。

3. 年齢別尾叉長組成(図1)

尾叉長組成は特徴的でした。最頻値は18入れを構成する25cm前後(3年魚;2012年級)の小型ニシンとなっており、これに加え、序盤の主体であった30cm以上の大型ニシンが混じるという状況ですが、このところの小樽や厚田方面で主群となっている4年魚(速報8,9参照)が著しく少なくなっています。標本の偏りの可能性もありますが、現時点での4年魚の分布は湾奥中心となっていることで、経産魚混じりの大型群とこれから産卵来遊する3年魚のWモードとなったのではないかと考えています。必然的に、現在湾奥で漁獲対象となっている4年魚の来遊はピークをこえたという見方も出てきます。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	15入	18入	合計
漁獲重量(22日荷受分)	161.06	245.16	406.2
漁獲尾数	480	1,296	1,776
測定尾数	15	18	33
測定尾数(精密)	15	18	33
平均尾叉長(mm)	310	259	272.7
平均体重(g)	336	189	228.7
雌の比率	0.40	0.61	—
完熟率*	0.67	0.00	—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

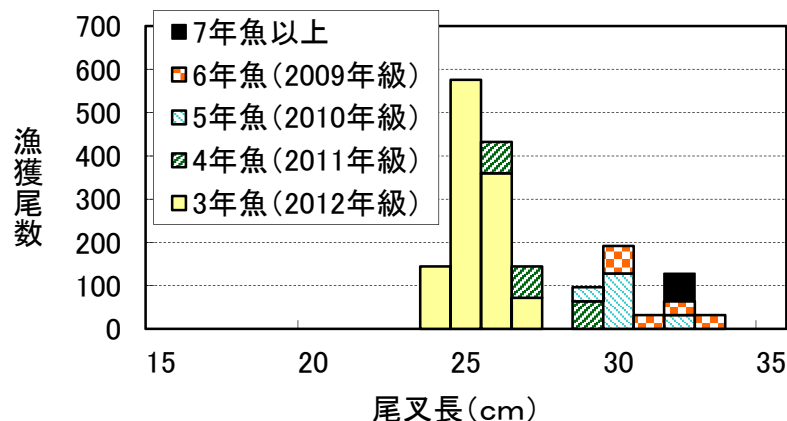


図1 2015年2月22日古平地区 年齢別尾叉長組成